

平成 21 年 4 月 22 日

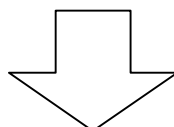
大阪府戦略本部会議設置要綱の改正について（案）

府政運営の基本事項に関する意思形成過程の透明性を高めるため、戦略本部会議について、これまでの「原則非公開」の運用を改め、審議内容に応じて公開の可否を判断することとする。

【現 行】

要綱第 6 条（運営）

会議は原則非公開とし、議事概要及び関係資料等（大阪府情報公開条例（平成 11 年条例第 39 号）第 8 条又は第 9 条の規定に該当する情報に係るものを除く。）は、会議終了後速やかに公表する。ただし、大阪府以外の関係者に影響が及ぶおそれがある資料や発言等については、そのおそれがなくなった段階で公表するものとする。



【改正案】

要綱第 6 条（運営）

会議は原則公開とする。ただし、大阪府以外の関係者に影響が及ぶおそれのある場合は会議を非公開とし、その場合、議事概要及び関係資料等（大阪府情報公開条例（平成 11 年条例第 39 号）第 8 条又は第 9 条の規定に該当する情報に係るものを除く。）は、会議終了後速やかに公表する。大阪府以外の関係者に影響が及ぶおそれがある資料や発言等については、そのおそれがなくなった段階で公表するものとする。

(案)

変革と挑戦 ～「部局長マニフェスト」のスタートにあたって～

私は、府民の皆さんが、大阪という都市、知事である私、大阪府庁という組織に求めているのは、変革と挑戦だと考えています。前例踏襲でなく、これまでのやり方そのものを変革できないのか。明日の大阪のため、今何に挑戦すべきなのか。私は、知事就任以来、府民の皆さんに数々のメッセージを発しながら、ひた走ってきました。

同時に、私は税を投入する施策の効果をどのように検証すればよいのかということに特に意を用いてきました。就任直後に政策マーケティングリサーチの手法を導入し、事前に効果を立証できない施策は認めないという方針を貫いてきましたが、実施した施策が府民満足度に結びついているのか、その検証をどう行うのか、改善にどうつなげるのかについては、模索しながら進んできました。

この4月から、組織強化を図るため「戦略本部体制」をスタートさせています。私は、この「戦略本部体制」の下で、「大阪維新プログラム案」や「将来ビジョン大阪」を着実に進めながら、大阪府庁という組織が一丸となって変革と挑戦を続けるような仕組み、府民の視点で施策の効果を点検し、改善点を見出し、反映させる仕組みを確立したいと考えています。

その肝となるのが「部局長マニフェスト」です。「部局長マニフェスト」は、府庁組織の各部門の政策推進とマネジメントの要である部局長自身が、府としての大きな方向性の下で、自らの部門が遂行する戦略目標や具体的な成果指標を掲げ、知事である私との間でその実現を“約束”し府民の皆さんに公表するものです。

大阪府庁の各部局・現場では、日々、治安、防災、教育、福祉、医療、環境、雇用、産業、都市インフラの整備など様々な業務の遂行に汗をかいています。これらの仕事の大部分は、手堅く着実に取り組むことで、府民の安全・安心や生活を守り、府民の信頼を得ることができるものです。

各部局長は、これらをしっかりとマネジメントするとともに、現状維持ではない変革と挑戦、戦略的な課題への取組みを、この「部局長マニフェスト」に位置づけ、私とともに役割と責任を果たしていただくことを期待しています。

これは、他の自治体に例をみない新たな試みです。いろいろと試行錯誤を繰り返しながらも、まずはやってみようということでスタートさせます。府民の皆様のご意見、府議会の皆様のご意見をもとに、より良い制度へと発展させていきたいと考えていますので、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

戦略本部会議「部局長マニフェスト意見交換」の進め方（案）

「部局長マニフェスト」は、部局長自身がその中に「変革と挑戦」をキーワードに、「戦略的な課題への取組み」を目標と位置づけ、その達成に向け、知事とともに府民に役割と責任を果たしていくもの。そこで、以下の流れにより、戦略本部会議において、知事と各部局長が十分に意見交換を行い、共通認識のもと目標設定することとする。

1. 各部局長と知事との単独の意見交換

- ・ 4月22日（水）から5月上旬までの間、4回に分けて個別に意見交換
- ・ 1回あたり3～5部局長（1部局あたり30分程度）
（その際、2.「部局横断的課題」の 카테고리については項目の説明のみとする。）

〔スケジュール案〕

| | 4/22 | 4/28 | 4/30 | 5/8 | 5月中旬 |
|-----------|------|------|------|-----|-------------------|
| 危機管理監 | | | | | 部局横断的課題に係る意見交換を実施 |
| 政策企画部長 | | | | | |
| 総務部長 | | | | | |
| 府民文化部長 | | | | | |
| 福祉部長 | | | | | |
| 健康医療部長 | | | | | |
| 商工労働部長 | | | | | |
| 環境農林水産部長 | | | | | |
| 都市整備部長 | | | | | |
| 住宅まちづくり部長 | | | | | |
| 会計管理者 | | | | | |
| 水道企業管理者 | | | | | |
| 教育長 | | | | | |
| 監査委員事務局長 | | | | | |
| 人事委員会事務局長 | | | | | |

2. 部局横断的課題についての関係部局長と知事との合同意見交換

複数の部局長間でミッションを共有すべき課題については、1.の意見交換と別に、5月中旬に1～2回に分けて関係部局長出席のもと、意見交換を実施し、目標の共有を図る。

〔部局横断的課題（案）〕

| テーマ | 具体的推進目標（例示） | 関係部局長 |
|---------------|---|--|
| 地域力再生 | ・ 学校の芝生化 ・ 地域安全見守り ・ 学校支援本部 etc | 危機管理監 府民文化部長 環境農林水産部長 都市整備部長 教育長 |
| 地方分権改革の推進 | ・ 広域連合 ・ 市町村への分権推進 ・ 直轄負担金の廃止 ・ 国道移譲 etc | 政策企画部長 総務部長 都市整備部長 |
| 産業活性化（新エネルギー） | ・ 新エネ戦略 ・ エコカー普及 ・ 太陽光活用充電スタンド etc | 商工労働部長 環境農林水産部長 |
| 都市魅力創造 | ・ 水都大阪 ・ 大阪ミュージアム etc | 府民文化部長 都市整備部長 |
| 障がい者雇用 | ・ 障がい者雇用促進のための条例制定 ・ 施設からの一般就労 etc | 福祉部長 商工労働部長 |

1. 及び 2. の意見交換を踏まえ、各部局長マニフェストを公表

(案)

平成 21 年度 政策企画部 部長マニフェスト

私の思い 政策企画部長 竹山 修身

政策企画部は、「知事・副知事のトップマネジメントの補佐」や「全庁的な施策の企画・調整」等を担うセクションです。

その責任者として、「つなぐ」の一語に思いを込めて、部の運営にあたっていきます。

今年度の府政運営のキーワードは、「変革と挑戦」。

様々な課題に、これまでの行政慣行にとらわれることなく果敢に挑戦し、将来の大阪を見据えた大きな方向性・方針のもと、全庁の意識がつなぎ合わさった施策を実施します。

そして、大阪府政に関わるあらゆる立場の人たちの力を結集し、その力を存分に発揮していただき、大阪の変革につなげる。

こうした府政運営の実現に大きな役割を果たしていきます。



重点課題

大阪府の総合力を高めるために

- 1 戦略本部体制による「意思決定プロセスの改革」

将来の大阪のために

- 2 大阪・関西発“地方分権改革”の推進
- 3 関西国際空港の機能向上
- 4 公私の高校教育のあり方

1 【重点課題：意思決定プロセスの改革】

| 遂行目標 (プロセス) | 業績目標 (結果) |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">【 戦略課題の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略本部体制の確立 | <p style="text-align: center;">【 アウトカムの数値目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府政運営の考え方が以前より分かりやすくなったと実感する府民の割合 (6割以上) ・府政が身近になったと感じる府民の割合 (6割以上) |
| <p style="text-align: center;">【 施策推進上の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦略本部会議の設置・運営 (原則週1回の開催、個別戦略課題の設定と時宜を得た審議を通じたマネジメント) ・部局長マニフェストの制度化 (21年度目標を5月中旬までに設定・公表) ・「府政運営の基本方針(大阪維新2010)」の策定 (7月素案、11月成案策定) | <p style="text-align: center;">【 アウトプットの数値目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局横断的戦略課題()について、戦略本部会議において年度内に方向性・方針を定める。 5項目 「地域力再生」 「地方分権改革の推進」 「産業活性化(新エネルギー)」 「都市魅力創造」 「障がい者雇用」 |

3 【重点課題：関西国際空港の機能向上】

| 遂行目標 (プロセス) | 業績目標 (結果) |
|--|---|
| <p>【 戦略課題の目標】</p> <p>1. 関空会社の ” 民間 ” の良さを活かした国際拠点空港としての競争力の向上</p> <p>2. 出入国拠点機能の回復・航空便ネットワークの充実</p> | <p>【 アウトカムの数値目標】</p> <p>1. 利用コストの低廉化による競争力向上</p> <p>2. 関空会社と連携し、空港利用者・事業者への満足度調査を実施し、評価</p> |
| <p>【 施策推進上の目標】</p> <p>1. 府のみならず、経済界や近隣自治体などオール関西で、関空会社の財務構造の抜本的改善（有利子負債の軽減）をはじめ国の責務の履行を求めていく。</p> <p>2. 長距離国際定期便の就航誘致のため、エアラインへのインセンティブの効果的活用（関空促進協の就航奨励一時金制度の拡充） 就航路線拡大に向け、国内外でのエアポートプロモーションの実施（関空促進協の事業として）</p> | <p>【 アウトプットの数値目標】</p> <p>1. 有利子負債の早期軽減に向け、国からの具体方策の提示と実効性の担保を求める（H22 年度国概算要求への反映等）。 有利子負債残高のさらなる減少 （参考）有利子負債残高：1 兆 1200 億円（H19 年度末現在）</p> <p>2. 国際拠点空港に相応しい、長距離国際旅客便の就航都市数の増加 （参考）欧米への就航都市数：7 都市（H21.4 現在） 国際航空貨物取扱量のシェア確保 （3 国際拠点空港に占める関空実績を約 25%以上とする。） （参考）3 国際拠点空港に占める関空実績：24.5%（H19 年度）</p> |

4 【重点課題：公私の高校教育のあり方】

| 遂行目標 (プロセス) | 業績目標 (結果) |
|--|---|
| <p style="text-align: center;">【 戦略課題の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公私の高校教育のあり方検討を本格的にスタート | <p style="text-align: center;">【 アウトカムの数値目標 】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 施策の進捗状況に応じ、次年度以降、業績目標を設定 </div> |
| <p style="text-align: center;">【 施策推進上の目標 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の検討に向けた課題抽出・資料の一助とするため、保護者等への調査を実施（6月目途） ・ 有識者から意見を聴取（6月目途） ・ 一定の姿を提示（夏頃） | <p style="text-align: center;">【 アウトプットの数値目標 】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 施策の進捗状況に応じ、次年度以降、業績目標を設定 </div> |

